

地域高規格道路「松本糸魚川連絡道路」 長野県からの報告



松本市側から糸魚川市方面を臨む

平成28年8月27日(土)

長野県 建設部 道路建設課

1 地域高規格道路 「松本系魚川連絡道路」とは

① 地域高規格道路について

- 高規格幹線道路を補完する役割
- 概ね60km/h以上のサービス速度※を確保

◆道路の種類とサービス速度※

高規格幹線道路（高速道路） 80～100km/h



地域高規格道路 概ね60km/h以上

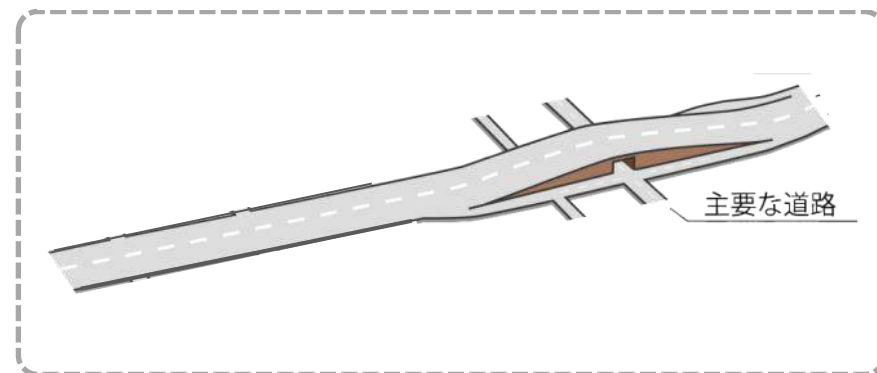


国道147・148号(松本市～糸魚川市)約41km/h



◆構造イメージ図

○主要な交差点を立体化



※サービス速度：信号停止等も含めた実際の平均走行速度
(国道におけるサービス速度は、H22道路交通センサスによる)

② 松本系魚川連絡道路について

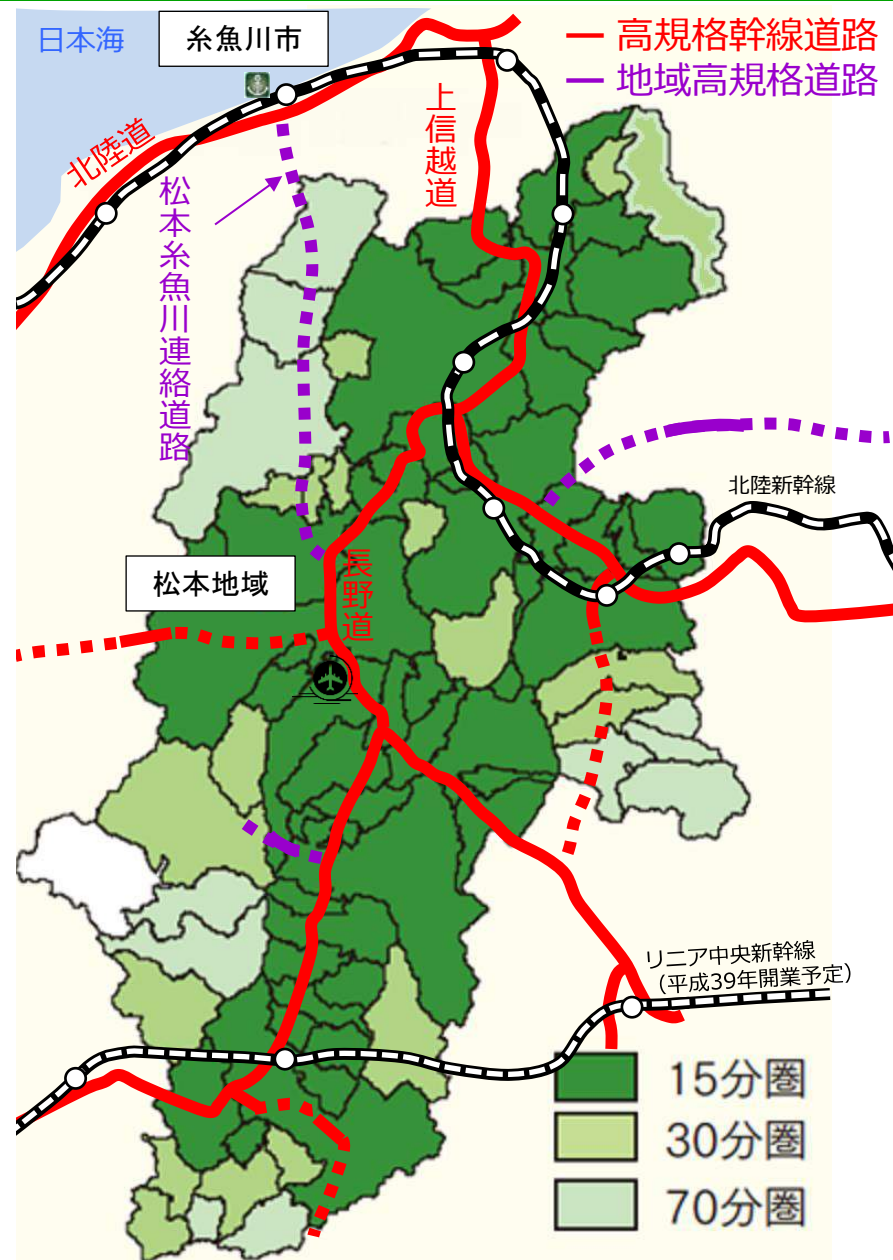
【概要】

松本市～糸魚川市

延長 約 100 km

- ・新潟県 約 20 km
- ・長野県 約 80 km

- 長野自動車道と
北陸自動車道を連絡し、
高規格幹線道路を補完。
- 高規格幹線道路の空白地域に、
より高い走行サービスを提供。



2 長野県新総合交通ビジョン (平成25年3月策定)

「本州中央部広域交流圏」の構築

■ 東西軸で東日本と西日本、南北軸で太平洋と日本海を結びます。



東西軸

- ・北陸新幹線
- ・リニア中央新幹線
- ・中部縦貫自動車道など



南北軸

- ・中部横断自動車道
- ・三遠南信自動車道
- ・松本系魚川連絡道路など



交流人口拡大や
移住促進を目指す。

3 松本系魚川連絡道路 の長野県側の状況

① 県内全線のルート案 (H20公表)



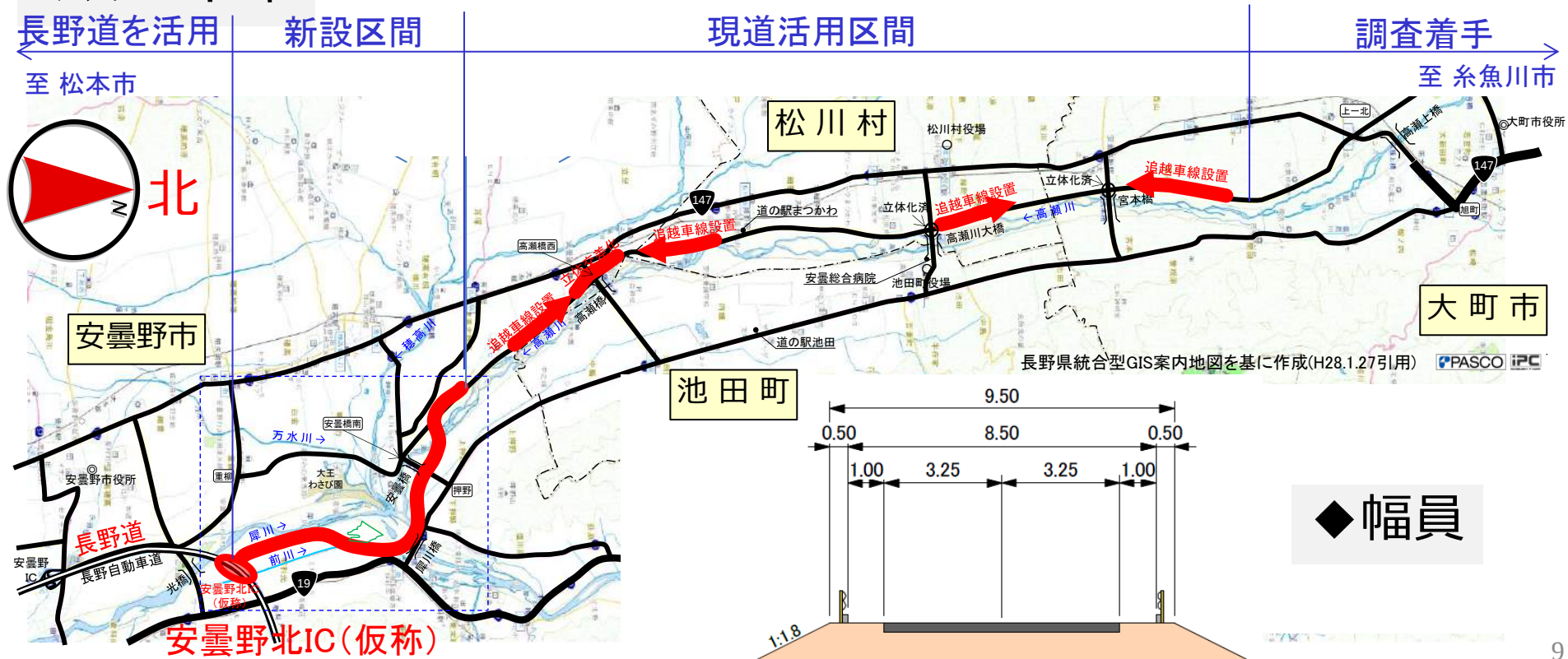
- 既存の道路をできる限り活用することを基本
- 道路の主な規格
 - ・ サービス速度は路線全体で概ね60km/hを目標
 - ・ 車線数は原則2車線とし、主要な道路との交差点では立体化を検討

② 安曇野北IC(仮称)～大町市街地南の計画案(H28.1公表)

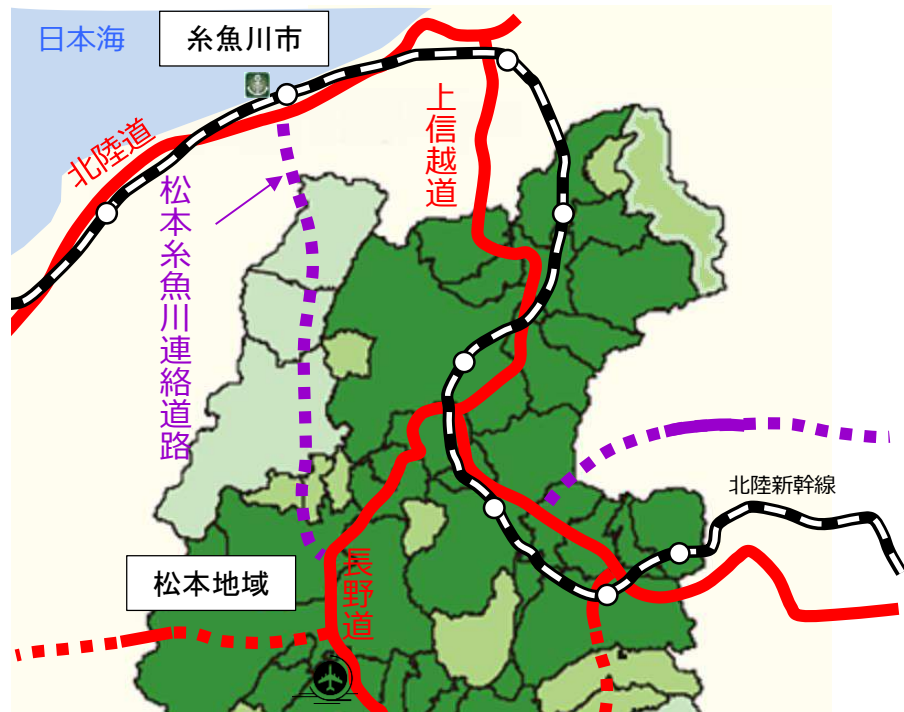
◆整備方針

- 設計速度 60 km/h (一般道路・2車線)
- 平成23年度公表の新設区間のルート帯を絞り込み(一部修正含む)
- 高瀬川右岸道路を部分改良して活用(追越車線4箇所、立体交差1箇所)

◆ルート帯



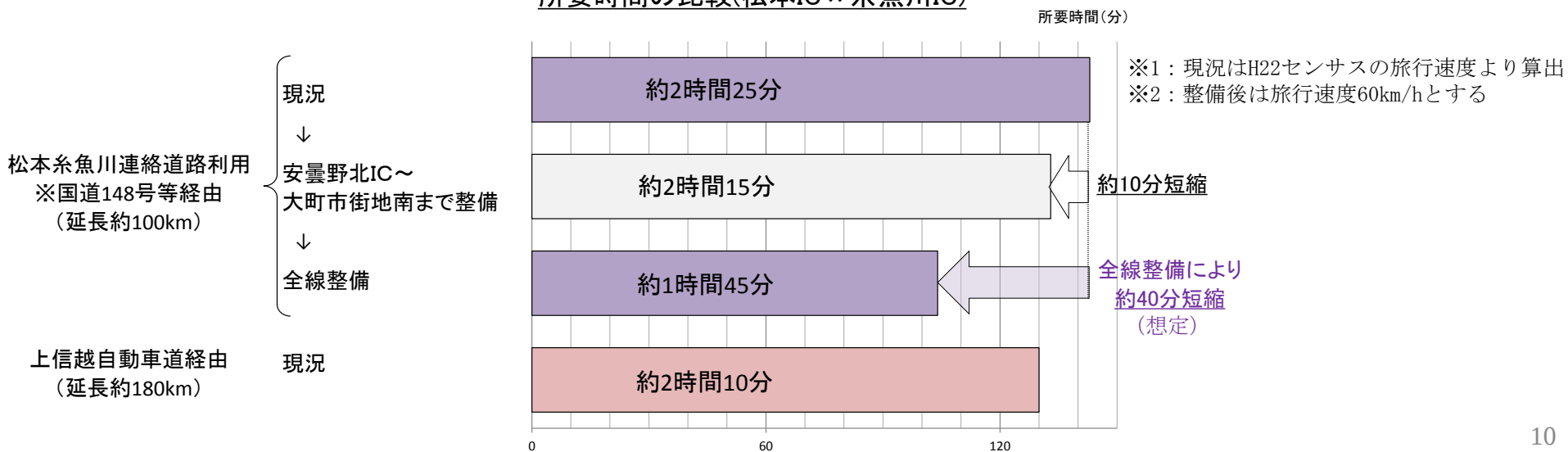
③ 整備効果(所要時間の短縮)



整備によるメリットの一例

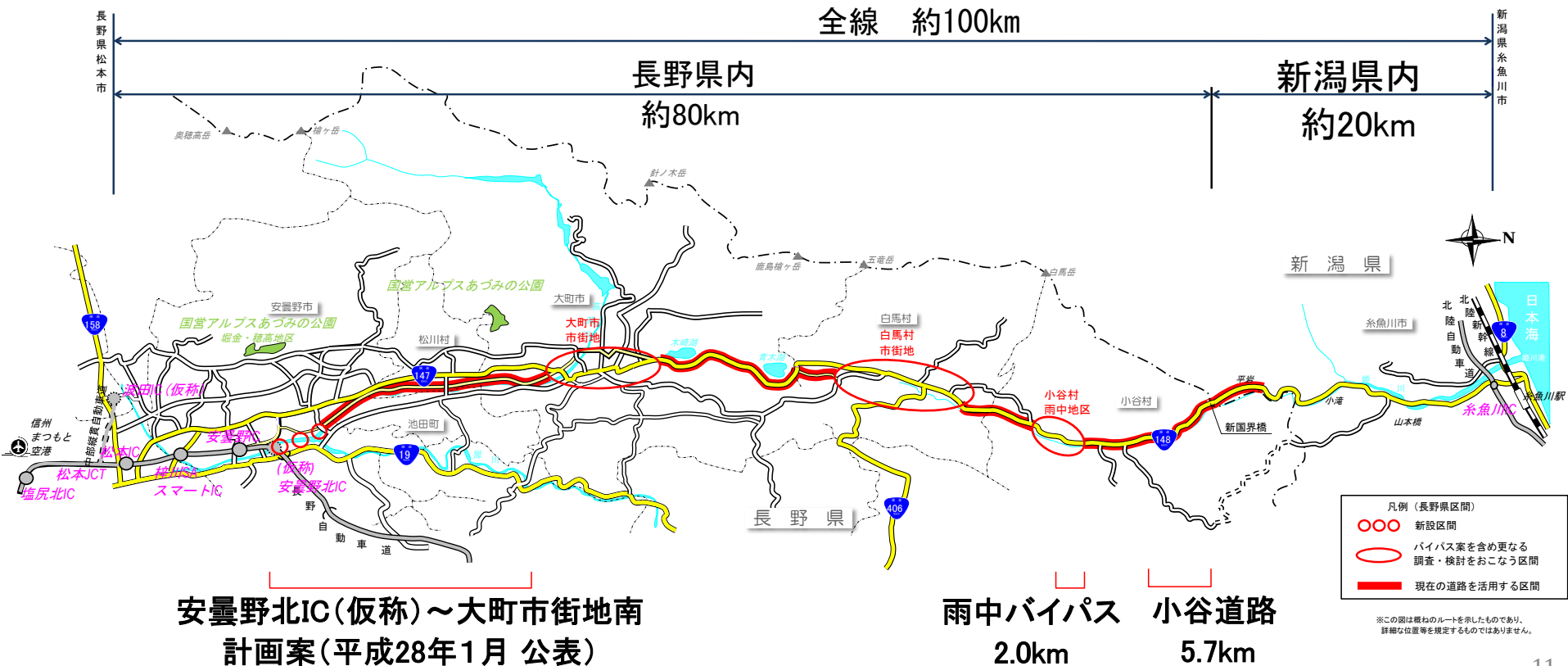
- ・ 上信越道経由よりも早く
松本地域と糸魚川市が結ばれる
 - ・ 高速道路料金の負担軽減
- ↓
- ・ 沿線地域の産業・観光振興へ

所要時間の比較(松本IC⇄糸魚川IC)



4 国道148号(大町市～糸魚川市) の整備事例

- ①小谷村 小谷道路
- ②小谷村 雨中バイパス



① 小谷道路の整備効果(走行性・安全性)

写真:高田河川国道事務所提供

事業概要

■ 国道148号 北安曇郡小谷村 小谷道路
(権限代行事業:国土交通省が整備)

- ・ 事業延長 L=5,700m
- ・ 工事期間 昭和63年度~平成26年度



【沢部橋梁構造による土石流被災の回避】



写真:整備前(H7年7月豪雨災害の被災状況)



写真:整備後(H23年12月開通区間)

【課題】 地形急峻により、走行性が悪く、災害の危険性も高い

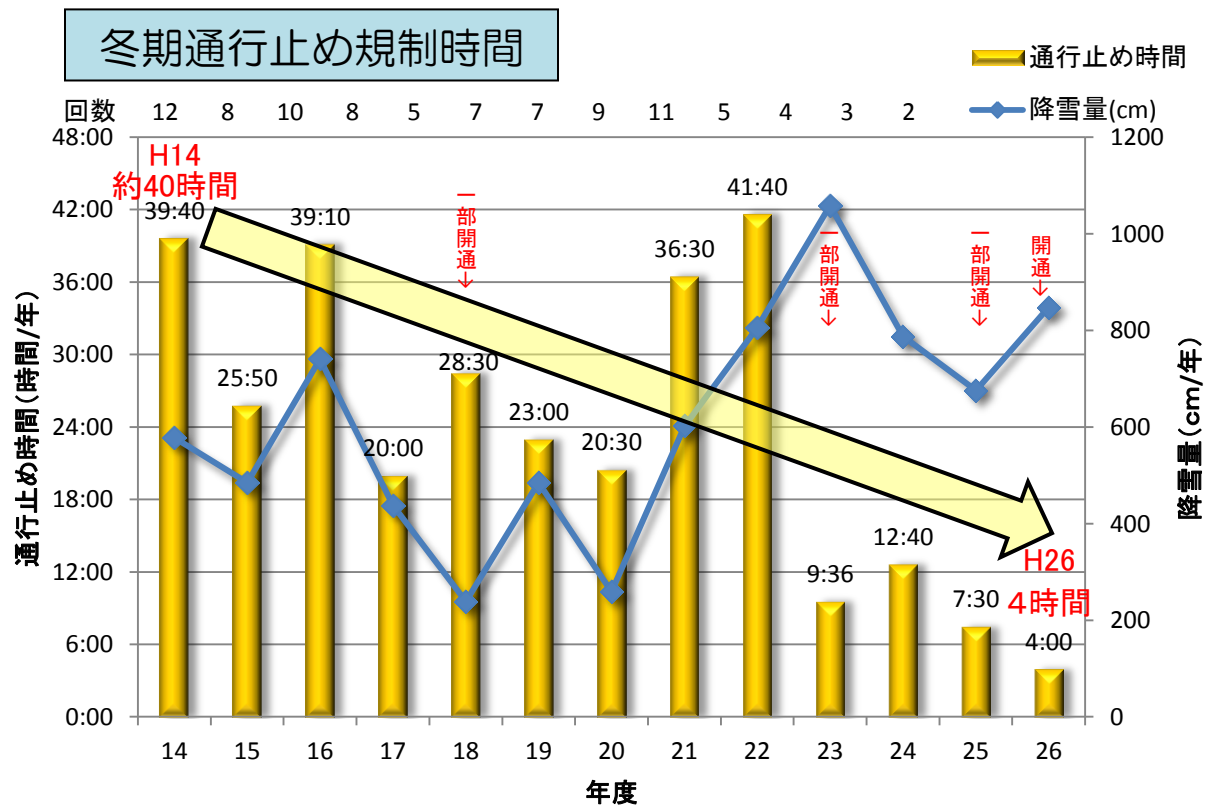
【整備効果】 走行性や安全性の向上

① 小谷道路の整備効果(信頼性)

写真: 高田河川国道事務所提供

【課題】 豪雪地帯であり、冬期通行止めが頻発する交通の難所

【整備効果】 通行止め時間が減少し、路線の信頼性が向上



大型車の登坂不能により発生する渋滞



② 雨中バイパスの概要

【課題】

- 交通事故が多い
(H23~27の5年間に45件の事故)
- 騒音・振動が著しい など
(環境基準値を超える騒音)



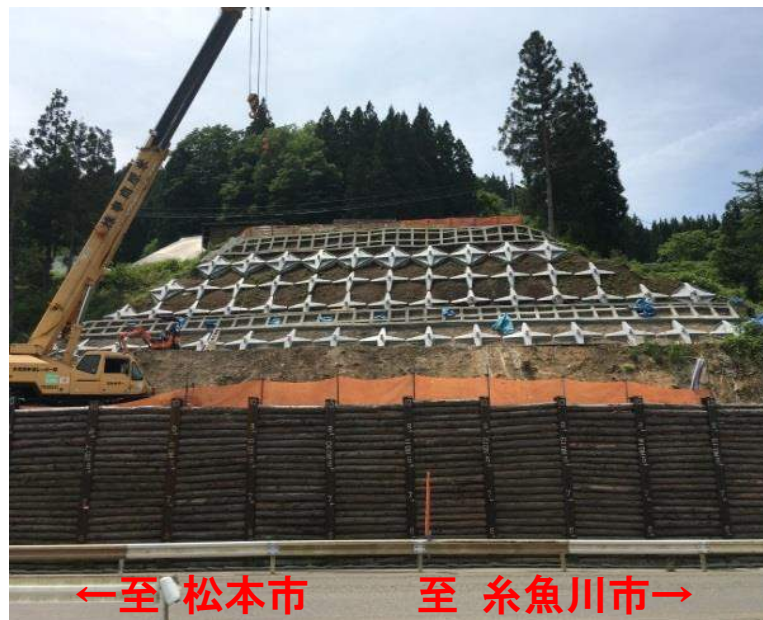
【概要】

延長 約2km
車道幅員 8.0m(2車線)

【経過】

H23 交付金事業化
H24~H25 地元計画説明会
H26.11.13 起工式

② 雨中バイパスの工事状況



H28事業内容

法面对策工
地すべり対策工



H29事業内容

2号トンネル発注予定

ご清聴ありがとうございました



H26神城断層地震による全面通行止めからの復旧工事
(国)148号 白馬村 通